

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス フリールーム新今宮		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外で活動ができる公共施設の充実【公園等】 施設の設備の充実【車等】	①施設のスペースが少し狭いこともあり、ストレス緩和を考えた公園活動を毎日取り組むよう心がけている ②お菓子等の買い出しを車で出かけている	①公民館や図書館といった静かに学習ができる施設を検索し、利用を検討している ②社会との関わりを増やす機会として郊外プログラムの更なる充実化を目指し、車でのお出かけ機会を増やしていきたいと考えている
2	個別支援を行っている 毎日取り組む学習、運動、対人コミュニケーション(集団遊戯)の他に各々、今できるようになりたい取り組み(平仮名練習や計算、対人コミュニケーションスキル獲得【SST】)を時間を取ってマンツーマンで対応している	①成功体験ができるように支援中は褒めて伸ばすこと支援員全体として共通意識を持って対応している ②本人や保護者様にできるようになりたいこと、なしてほしいこと家族支援等を利用しながら聞き取りを行っている ③会議等で利用者様の課題点等を話し合っ施設で提供できるプログラムを日々考えている	①支援員間同士でのコミュニケーションを取る機会を会社として増やしていき、個別支援の進捗具合の共有や課題点の話し合う機会をたくさん作っていく ②継続して優秀な人材確保を行っていく ③研修や朝礼時間を生かして人材育成に努めていく
3	専門支援員【心理士】の配置	①集団活動、生活が苦手な児童に対して小集団による専門支援実施を行い、協調性や社会性の向上に努めている ②専門支援実施やその他のプログラム、いろんな場面での心理士によるメンタルケアの取り組みで精神の安定を支援、目指している ③話し合う機会等で感情の理解【アンガーマネジメント】を深める支援を行い、感情の起伏にアプローチしている	①専門支援員以外の児童指導員やその他の従業員もアンガーマネジメントなどの知識を身に付け支援に活かして行くことができるように研修等で学ぶ機会を作っていく ②未就学児の精神面の発達段階の理解を施設全体で深めていくことをしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準はクリアしているが施設のスペースが狭く学習スペースを確保することが限界である	事業開所時に最低限の療育スペースが確保できる物件を契約し、事業を開始したため	①現状は公園といった外での活動プログラムを上手く利用しながら施設の狭さがストレスにならない工夫をしている ②物件探しを行い、今よりも広いスペースが確保できる場所への移転を進めている。物件は契約済み。【2026年5月～7月の間に移転できるよう準備を進めている】
2	こども園や幼稚園といった外部との交流機会がない	毎日の学習、運動、個別プログラムを定着させていくことが現状の施設としての目標である為、他の児童施設との密な関わりを持つ意識をすることができていない	①管理者が地域のこども園等を調べる ②こども園等に訪問する機会を作ってどんな活動をしているのか実態を把握、学習する ③支援員全員がこども園等の施設があることへの理解を持ち、どんな活動をしているのかといった詳細な施設情報を共通認識をする ④こども園等が開催しているお祭り等に参加する機会を作る
3	保護者様への情報の共有、説明	HUGのシステム導入でネット上に避難訓練の様子や保護者様への連絡事項等の情報発信をしているがHUG上での情報を発信しているだけになっている。多忙な保護者様が多いことを考えた上での情報発信のツールが少ないことが現状の課題	①今まで通りHUGのシステムでの情報発信を行っていくと共に口頭やメール、ラインといった別の手段でも確認をお願いしていくよう連携の強化を行っていく ②情報発信はまとめて行うのではなく小まめに発信をして一回情報を分散していく ③現状も行っている家族支援をより強化していきご家族様への情報発信や相談業務を徹底していく